



スオスダイ！

（こんにちは）

主の御名を賛美いたします。私たちは、2015年3月に日本バプテスト連盟より派遣され、2023年3月までの8年間、カンボジアで宣教活動を行ってきました。2023年4月、CBU（カンボジアバプテスト連合）より招聘を頂き、主の導きとみ言葉によってカンボジアの地で宣教活動を継続しています。

近況報告

皆さまのお祈りとご支援にいつも感謝しております。昨年8月のカンボジア帰任以来、家族全員の健康が守られ、現地での働きが導かれています。こちらは1月、2月は例年より暑い日が続きました。3月に入り、乾季の終わりが近づくと共により暑さが厳しくなっています。

年明けの能登半島の大地震に続き、日本各地で発生してしている地震のニュースを追っています。被災された全ての方々に主からの助けと励ましが与えられますように、引き続きお祈りしています。

以下、1月と2月に教会での出来事を中心にお伝えします。



1月の誕生日会の様子。チュン牧師の祈りに、子どもたちが祈りを合わせます。

あなたはわたしの魂を死から わたしの目を涙から わたしの足を突き落とそうとする者から
助け出してくださった。命あるものの地にある限り わたしは主の御前に歩み続けよう。

詩編 116 : 8-9

CBUオフィス教会日曜学校

1月、2月も多くの子もたちが教会に導かれ、日曜学校に参加しています。1月から新しい試みとして、青年スタッフのリターさんが、子どもリーダー向けのクラスを始めました。日曜学校開始より1時間早い午後1時から、小学校高学年～中学生を対象に子どもリーダークラスはスタートします。リターさんが祈りの中で導かれた時間であり、リーダーとなる子どもたちが、更に靈的に成長できる場所です。まず子どもリーダーが、リター先生から聖書と賛美歌を教わります。そして2時からの通常の日曜学校で、子どもリーダーが、小学校低学年や新しい子たちへ、その学んだ恵みを分かち合うという試みです。



リター先生の話に耳を傾ける子どもたち



7日間の創造の記事を読み上げる
子どもリーダーたち

第1回目、子どもリーダーたちが新しいクラスで7日間の創造の記事を学びました。2時からの通常クラスで、子どもリーダーたちは聖書を読み上げ、子どもたちに質問を投げかけていました。子どもたちは食い入るように、話と質問に耳を傾けていました。

子どもたちは普段はいつも、家や学校などで大人からいろいろ教わっています。しかし教会では、「大人から子どもへ」教えるだけではありません。幼くても、主の御声に聴き従いたい、主の働きに加わりたいと思っている子どもたちが多くいます。これがまさしく、私たちが目指している「子どもから子どもへの伝道」の形です。新しいクラスが更に導かれるように、お祈りいただければ幸いです。

待ちに待った「子ども市場」

2月18日（日）、子どもたち待望の「子ども市場」が行われました。市場と言っても、買い物をするのではなく、ビンゴゲーム、くじ引き、射的、ボール的当てなどを楽しむ、お祭りのイベントです。普段、毎週日曜学校で一生懸命学んでいる子どもたちへ、神様からのプレゼントです。

普段の生活の中で、娯楽の機会が少ない子どもたちに、少しでも楽しみを味わって、嬉しい思い出を作りたい、そんな願いを込めて、この「子ども市場」は始まりました。去年の5月以来、8か月ぶりの開催となりました。



ビンゴゲームに参加した子どもたち
後方の五つのバッグがビンゴ景品



子どもたちに一番人気のくじ引き。
景品は主に洋服です。

各ゲームを担当するスタッフが足りなかったところ、青年たちが急きょ手伝ってくれました。手伝ってくれた青年たちに心から感謝します。各ゲームには行列ができ、大いに盛り上がった子ども市場となりました。予定していた1時間半は、あっという間に終了しました。この機会をくださった神様に感謝します。

当日を迎えるまで、子どもたちは毎週のように、「子ども市場いつやるの?」と聞いてきました。この日のために、献品を頂いた物などを含めて、賞品をたくさん用意することができました。献品して下さった皆さま、ありがとうございました。初めて来た子どもも含めて、40名以上の子どもたちが参加してくれました。



射的ゲーム
年齢によつて的までの距離を変えています。

日本語クラスの様子

1月、2月と礼拝後の日本語クラスを継続しています。クラスは2つに分かれて行っており、青年たちを和幸宣教師が、子どもたちを薫宣教師が担当しています。青年のクラスでは、2月で平仮名の「わをん」まで学ぶことができました。子どもたちのクラスでは、かるたなどの遊びを積極的に取り入れ、笑い声の絶えない楽しいクラスになっています。



かるたを通して日本語に触れる
子どもたち

カンボジア女性支援 ミニストリー「希望の糸」



製品の糸の長さを整える
ケマさん(右)とスレイモムさん(左)

マクラメアートを用いた女性支援ミニストリー「希望の糸」を祈りに覚えてくださりありがとうございます。1月には、カンボジアへ訪問して下さった宣教チームが購入して下さり、また日本の教会からも新しい注文がありました。このように少しずつミニストリーを神様が導いてくださっていることを感謝します。ケマさん、スレイモムさんの二人は日々、マクラメアートの制作に、楽しみながら励んでいます。これまでの通常サイズの製品に加えて、日本向けに小さなサイズも作成するなど、試行錯誤を続けています。続けてお祈りくださると幸いです。

Youtubeチャンネル 「リビングフィールドの会」

1月、カンボジア宣教をお伝えするYoutubeチャンネル「リビングフィールドの会」が開設されました。昨年8月のカンボジア帰任以来、常盤台バプテスト教会をはじめとする支援教会の方々と共に、支援会の立ち上げに向けてZOOMを通して話し合い、共に祈ってきました。そして1月、Youtubeチャンネル開設という形で、支援会「リビングフィールドの会」がスタートしました（右のQRコードから見るができます。）。現地での活動の様子を、動画で紹介しています。開設のために祈り、協力してくださった支援教会の方々に心から感謝いたします。



Youtubeチャンネルの画面（PC）
左のQRコードからアクセスできます。

来主と栄主の学校生活

1月26日、来主と栄主の通うホープインターナショナルスクールにて、毎年恒例の「スポーツデー」（運動会）が行われました。トラックを距離別で走る徒競走などのおなじみの種目に加え、走り幅跳びや砲丸投げなど、陸上競技の種目もあります。日本の運動会のように四色（赤、青、緑、黄）でチームに分かれており、来主、栄主が属する黄色組は、惜しくも優勝はならず、2位でした。来主、栄主共に、様々な競技に参加し、持っている力を全て出し切ることが出来ました。



リレー競技で競い合いながら力走する来主（左）
短距離走にて全力疾走する栄主（右）

<祈りの課題>

1. CBUオフィス教会の子どもたち、青年たちが主の恵みによって成長していくように。
2. キリングフィールド近くのコミュニティと近隣地域が、福音によって変えられるように。
3. 女性支援活動「希望の糸」が祝福され、ケマさんら女性たちへの支援が広がりますように。
4. 活動や生活のための必要、二人の子ども（来主、栄主）の学費の必要が満たされるように。

嶋田 和幸・嶋田 薫（CBU宣教師）、来主（くろす、15歳）、栄主（えいす、11歳）

（連絡先）Eメールアドレス dekakurosu3927@gmail.com

携帯電話：050-5435-4350（日本から発信可）

（献金振込先）楽天銀行 ノエル支店（支店番号 2 4 6）

口座番号 1 0 8 1 0 6 4 シマダ カズユキ

